

第46期 年次報告書

2025年4月1日～2026年3月31日

寺崎電気産業株式会社
TERASAKI ELECTRIC CO., LTD.
証券コード：6637

2026年3月期 連結業績・配当金ハイライト

詳細は、当社ウェブサイトに掲載されているIR情報をご覧ください。
<https://www.terasaki.co.jp/investor/>



売上高

営業利益 / 営業利益率

経常利益

親会社株主に帰属する当期純利益
/ 1株当たり当期純利益

配当金

62,858百万円

6,197百万円

6,515百万円

4,188百万円

年間 53円

前年同期比 +11.4%

前年同期比 +10.3%

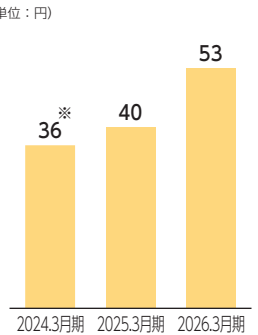
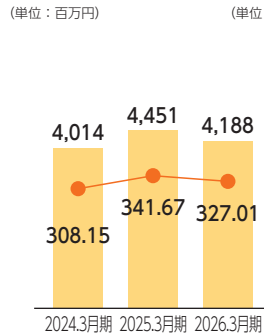
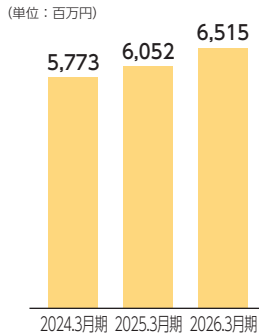
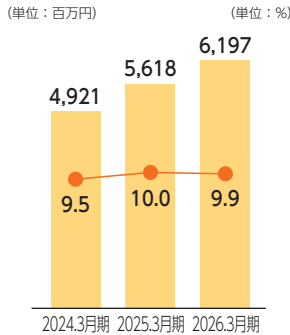
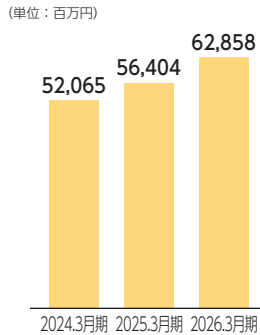
前年同期比 +7.6%

前年同期比 ▲5.9%

■ 営業利益
● 営業利益率

■ 親会社株主に帰属する当期純利益
● 1株当たり当期純利益

■ 1株当たり配当金



*100周年記念配当10円を含む

2027年3月期 業績予想 及び 配当予想

(注) 中東地域を中心とした地政学リスク拡大に伴う不確定要因については、現時点でその影響額を合理的に算定することが困難であるため、本業績予想に織り込んでおりません。

売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する当期純利益

配当金

69,520百万円

5,730百万円

5,830百万円

3,760百万円

中間 28円
期末 28円
年間 56円

前年同期比 +10.6%

前年同期比 ▲7.5%

前年同期比 ▲10.5%

前年同期比 ▲10.2%

《業績予想の前提となる為替レート》

1米ドル：151円、1ユーロ：176円、1英ポンド：199円、
1中国人民元：21.7円

《為替感応度》 (1米ドル1円変動時*の影響額)

売上高：約2億円、営業利益：約1億円

*その他の外貨が米ドルと連動して変化することを前提とする

Point

- 売上高…高水準の手持ち工事量を抱える造船業界や底堅い国内設備投資を背景に、増収を予測。
- 利益…価格適正化への取り組みを進めるものの、原材料高騰・人件費増の影響により、減益の見通し。



強化した生産拠点を最大限に活用し、
システム製品の受注を
確実に売上に結び付けるとともに、
環境の変化に迅速に対応し、
本年も力強く成長してまいります。

代表取締役 社長執行役員
寺崎 泰造

2025年度の業績

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2026年3月期の業績は、売上高・営業利益ともに昨年度を上回る業績とすることができました。

この業績は、売上面では、増強したシステム製品製造工場の生産能力で、好調な造船マーケットへの対応力を強化した成果と判断しております。利益面では、銅や銀などの原材料価格や人件費の高騰が大きな押し下げ圧力となったものの、収益改善などへの取り組みが実を結びました。

造船マーケットの状況

当社の主要顧客である造船業界においては、船舶需要の不確実性は高まっているものの、船価は高い水準で推移しており、海上輸送の脱炭素実現に向けた次世代燃料船需要の継続により、手持ち工事量は高い水準を維持しています。造船所の手持ち工事量は、2026年3月末時点で3.48億総トンを超え、4年分以上の手持ち工事量を確保されている状況です。当社も2026年3月末時点で、システム製品の受注残高が約697億円となりました。

一方、中東情勢の悪化に伴うホルムズ海峡や紅海の航行制限により、今後の海運市況に不透明感が増しております。

機器製品・産業用システム製品マーケットの状況

国内において人手不足を背景とする自動化・省力化投資や、生成AIの活用拡大等に関連した設備投資、並びに電力需要の増加を背景に、底堅く推移すると予想します。海外においては、米国の通商政策の動向や地政学リスクの継続等により不確実性が残ることから、慎重に事業環境を見極めていく必要があります。

2026年度の経営計画

2027年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は増収、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は、減益を予想しております。

業績予想の前提となる為替レートは、1米ドル：151円を想定しております。外貨売上が半分以上を占める当社にとっては、為替レートの変動は売上高、利益に大きく影響します。

また、当社製品は銅や銀などの原材料を多く使用しておりますので、銅・銀価格の高騰は製品コストに大きく影響しており、今後も注視していく必要があります。

石油製品等の供給制約への対応については、納期やコストの管理に注力してまいります。

システム製品においては、強化した国内外の生産拠点を最大限に活用し、船舶向け及び産業向けの豊富な受注残を確実に売上に結び付けます。医療では、ビジネスパートナーとの共創力強化と海外市場への共同展開を進めます。エンジニアリング及びライフサイクルサービスでは、海外拠点の拡充と強化を進めます。

機器製品においては、新製品の販売強化を継続するとともに、本格稼働した加美工場（第1期工事）の効果を最大化し、生産性や品質の向上に努め、環境負荷低減にも取り組んでまいります。また、加美工場（第2期工事）の準備も進めてまいります。

さらに、人的投資も積極的にを行い、テラサキの強みであるグローバルかつ多様な人材、一人一人の能力を活かした組織づくりを進め、持続的な成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2026年6月



2026年1月から稼働開始した加美工場（第1期工事）
外観と内部の様子

連結財務諸表(要旨)

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表

資産の部		
科目	(単位：百万円)	
	前期末 (2025年3月31日現在)	当期末 (2026年3月31日現在)
[資産の部]		
流動資産	51,199	55,077
現金及び預金	17,614	13,929
受取手形、売掛金及び契約資産	13,993	17,634
棚卸資産	17,048	20,915
その他の流動資産	2,541	2,597
固定資産	22,696	26,350
有形固定資産	14,073	15,417
無形固定資産	160	171
投資その他の資産	8,462	10,761
資産合計	73,896	81,427

負債・純資産の部		
科目	(単位：百万円)	
	前期末 (2025年3月31日現在)	当期末 (2026年3月31日現在)
[負債の部]		
流動負債	16,608	18,440
固定負債	5,855	7,535
負債合計	22,463	25,975
[純資産の部]		
株主資本	44,048	44,085
資本金	1,236	1,236
資本剰余金	2,244	2,244
利益剰余金	40,568	44,105
自己株式	△ 1	△ 3,501
その他の包括利益累計額	7,384	11,365
純資産合計	51,432	55,451
負債純資産合計	73,896	81,427

連結損益計算書

科目	(単位：百万円)	
	前期 (2024年4月1日から 2025年3月31日まで)	当期 (2025年4月1日から 2026年3月31日まで)
売上高	56,404	62,858
売上原価	40,377	45,459
売上総利益	16,027	17,399
販売費及び一般管理費	10,408	11,202
営業利益	5,618	6,197
営業外収益	568	690
営業外費用	133	371
経常利益	6,052	6,515
特別利益	34	13
特別損失	2	5
税金等調整前当期純利益	6,085	6,523
法人税、住民税及び事業税	1,758	2,345
法人税等調整額	△ 124	△ 9
当期純利益	4,451	4,188
親会社株主に帰属する当期純利益	4,451	4,188

連結キャッシュ・フロー計算書

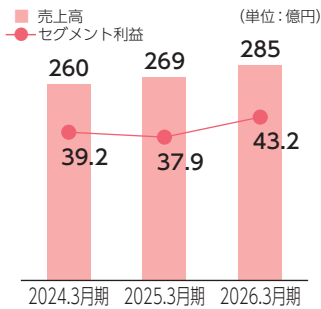
科目	(単位：百万円)	
	前期 (2024年4月1日から 2025年3月31日まで)	当期 (2025年4月1日から 2026年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,327	1,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,193	△ 2,890
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 743	△ 2,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	1,011
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,404	△ 3,685
現金及び現金同等物の期首残高	13,210	17,614
現金及び現金同等物の期末残高	17,614	13,929

自己資本比率



所在地別セグメントの概況

日本



売上高

28,534百万円

(前年同期比 +6.0%)

セグメント利益

4,329百万円

(前年同期比 +14.2%)

▶ 船舶用システム製品

LNG運搬船向けが好調。陸電供給システム、ばら積み船、コンテナ船向け等が大幅に増加。

▶ 産業用システム製品

国内グリーンエネルギー関連の発電プラント向け及びコージェネレーションシステム等の分散型エネルギー関連向けが大幅に増加。

▶ メディカルデバイス

医療機器の設備投資が低調に推移。

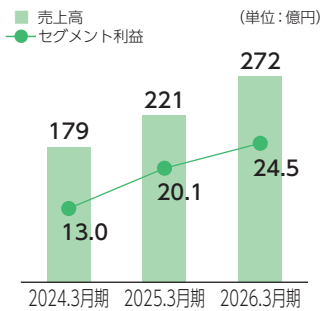
▶ エンジニアリング及びライフサイクルサービス

国内鉄道関連施設のエンジニアリング案件が減少。

▶ 機器製品

国内設備投資が底堅く推移し、前年同期と比べほぼ横ばいとなる。

アジア



売上高

27,210百万円

(前年同期比 +22.6%)

セグメント利益

2,454百万円

(前年同期比 +21.8%)

▶ 船舶用システム製品

LNG運搬船をはじめ、いずれの船種向けも好調に推移し、前年同期と比べ大幅増。

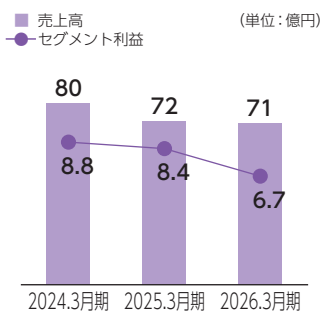
▶ エンジニアリング及びライフサイクルサービス

船舶向けの換装工事が減少。

▶ 機器製品

中国船用市場向け及びマレーシア国内向けで堅調に推移。

ヨーロッパ



売上高

7,113百万円

(前年同期比 ▲2.4%)

セグメント利益

670百万円

(前年同期比 ▲20.4%)

▶ 機器製品

英国内及び中東向けにおいて低調に推移。

▶ エンジニアリング及びライフサイクルサービス

船舶向けブレーカの更新工事が増加。

製品別概況

システム製品 (配電制御システム等)

売上高 382億円

(前年同期比 +17.2%)

受注高 485億円

(前年同期比 ▲12.1%)

受注残高 697億円

(前連結会計年度末比 +103億円)

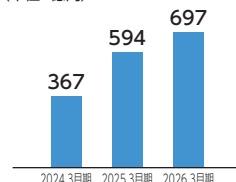
機器製品 (低圧遮断器等)

売上高 246億円

(前年同期比 +3.5%)

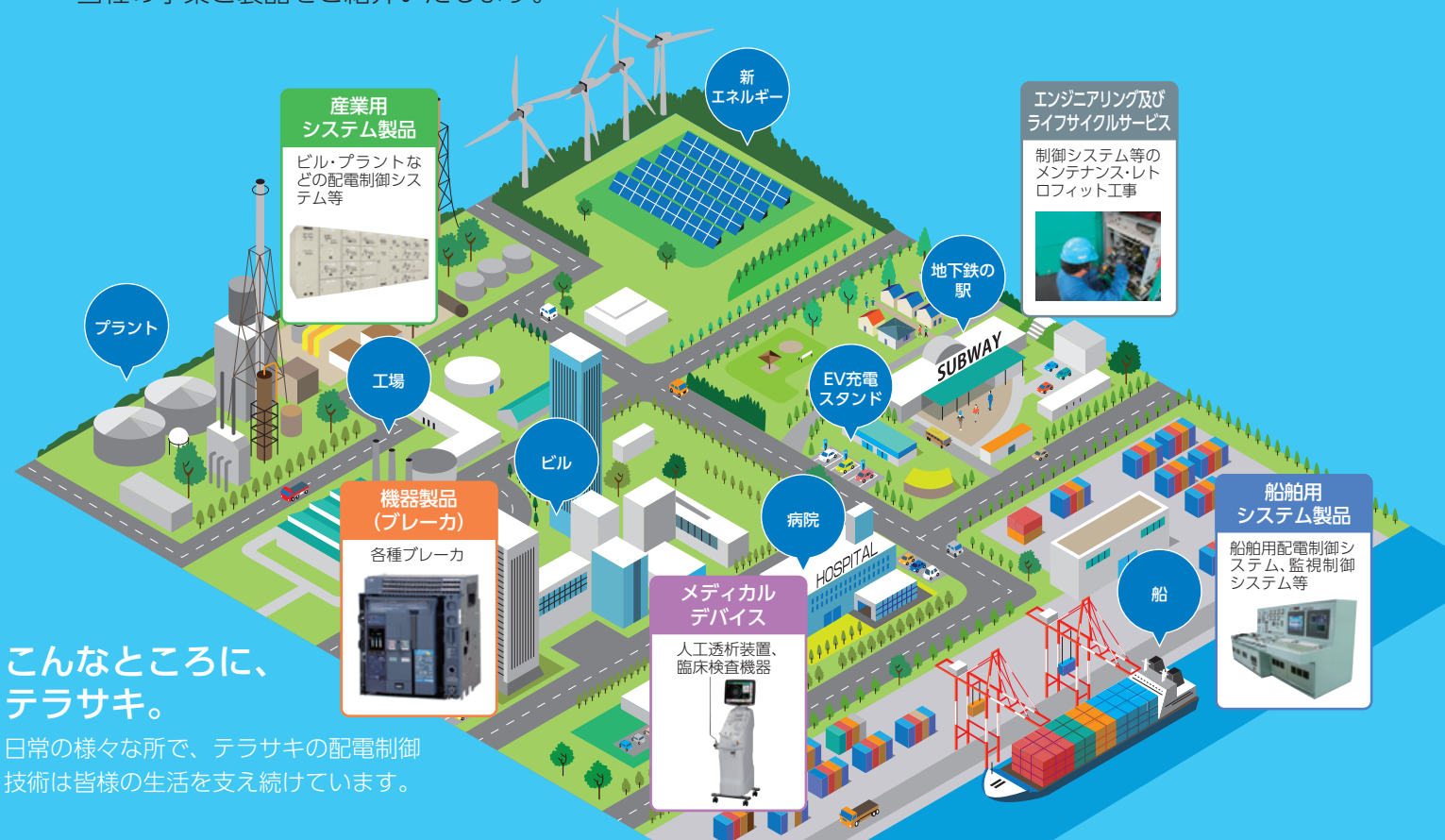
(注) 機器製品は、計画生産を行っているため、受注高、受注残高は開示しておりません。

【システム製品受注残高 推移】 (単位: 億円)



特集 テラサキの事業紹介

当社の事業と製品をご紹介します。



こんなところに、
テラサキ。

日常の様々な所で、テラサキの配電制御技術は皆様の生活を支えています。

Vol.5 エンジニアリング及びライフサイクルサービス

Q. エンジニアリングって何なの？

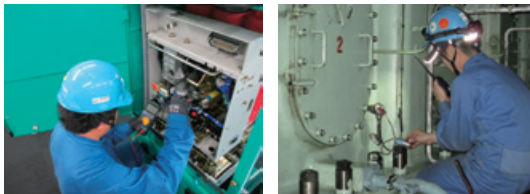
A. 電気設備の設計・製造だけでなく、その据え付けや設備導入までを一貫して行うことがエンジニアリングになります。

大阪市の地下鉄での電気設備工事や、工場設備の設置なども行っています。



Q. ライフサイクルサービスって何なの？

A. お納めした電気設備を定期点検・修理したり、設備の耐用年数を目安に改修などをご提案し、改修工事などを行うサービスのことです。



Q. この事業で船に関する仕事は何割くらいあるの？



A. 売上高に占める船舶向けの割合は、約半分です。当社は、船舶が建造時からその一生を終えるまでの長期にわたって安全に運航できるよう、搭載された電気設備をメンテナンスします。

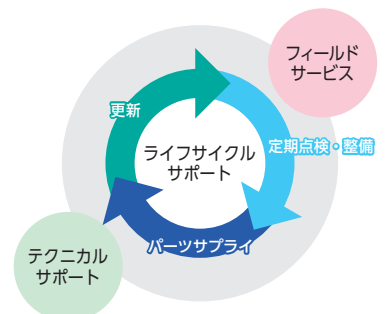
現在の新造船建造ブームを、将来のライフサイクルサービスの成長に繋げてまいります。

Q. 電気設備はどれくらいの期間で更新（交換）されるの？

A. 電子機器などは、皆さんが使われるパソコンと同じように、10年程度で更新される場合もあります。

電気設備は設備の使用頻度や重要度にもよりますが、30年程度使用されますので、その間には主要機器であるブレーカなどの更新工事も行います。

これからも、信頼性と経済性を両立しつつ、長期的な「安全・安心・快適」を提供してまいります。



● 会社の概要

商号 寺崎電気産業株式会社
 本社 大阪市平野区加美東六丁目13番47号
 創業 1923年(大正12年)10月1日
 設立 1980年(昭和55年)4月1日
 資本金 12億36百万円
 従業員数 2,219名(連結)
 566名(個別)
 連結子会社 国内4社、海外8社

● 取締役及び執行役員 (2026年6月29日現在)

代表取締役社長	寺崎 泰造	執行役員	小林 裕史
取締役専務執行役員	熊澤 和信	執行役員	浜野 修次郎
取締役常務執行役員	長瀬 順治	執行役員	西野 政治
取締役常務執行役員	梅本 好弘	執行役員	中川 英生
取締役常務執行役員	吉川 和宏	執行役員	武田 務
取締役執行役員	安川 恵太	執行役員	擲 輝行
取締役執行役員	那須 修三	執行役員	鈴木 正彦
取締役常勤監査等委員	西田 昌央		
取締役監査等委員(社外)	千代田 邦夫		
取締役監査等委員(社外)	鷹野 俊司		

● 株式の状況

発行可能株式総数 52,000,000株
 発行済株式の総数 13,030,000株
 株主数 3,038名

● 大株主の状況(上位10名)

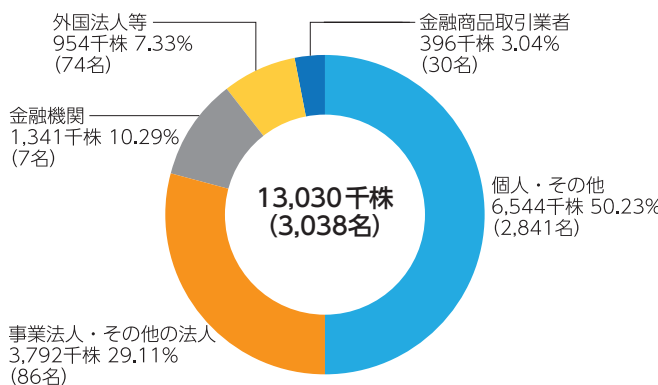
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社寺崎	2,200	17.94
寺崎 泰造	1,149	9.37
荒巻 かおり	738	6.01
寺崎 雄造	677	5.52
株式会社芳山社	653	5.32
テラサキ共栄会	490	4.00
テラサキ従業員持株会	476	3.88
有限会社アーク	400	3.26
株式会社三菱UFJ銀行	360	2.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	327	2.66

(注) 持株比率は自己株式(765,325株)を控除して計算しております。

● 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
 定時株主総会 毎年6月下旬開催
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 電話 0120-094-777 (通話料無料)
 なお、特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求取次依頼書等)のご請求につきましては、インターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 スタンダード市場
 公告方法 電子公告により行います。
 当社ウェブサイト <https://www.terasaki.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。)

● 所有者別株式分布状況



※自己株式(765,325株)は個人・その他に含めて記載しております。

株主アンケート

みなさまの **声** を お聞かせください

<https://koekiku.jp>

アクセスキー XXXXXXXXXX

抽選でギフト券を進呈!

サービス運営会社: 株式会社プロネクサス
 お問い合わせ: コエキク事務局
koekiku@pronexus.co.jp

コエキク

